

2025 年 第 26 回認定看護管理者会総会・研修会の報告

日時：2025 年 2 月 8 日（土）10:00～16:30

開場：公益社団法人日本看護協会 JNA ホール

総会（10:00～11:15）

出席者数：66 名 委任状：510 名（会員総数：832 名 2024 年 12 月 31 日現在）

会則 14 条に従い、委任状を含め過半数を超えたため総会は成立した。

報告第 1 号 2024 年事業報告（重点目標総括 他）

報告第 2 号 2024 年会計報告・会計監査報告

議案第 1 号 2025 年事業計画

議案第 2 号 2025 年予算

議案第 3 号 会の名称変更

議案第 4 号 会員の条件変更

議案第 5 号 会則の改正

議案第 6 号 法人化に向けた検討と準備について

議案第 7 号 役員改選



総会要綱に沿って報告がされ、報告第 1 号及び第 2 号、議案第 1 号～3 号及び第 5 号～第 7 号については質疑なく承認された。議案第 4 号「会員の条件変更」について会場より「議案第 3 号で本会が日本認定看護管理者会となることが承認された中、認定看護管理者資格を有さない人が本会に入会するのは如何か」との意見があった。また、会則の見直し及び本会会員のうち認定看護管理者の取得を目指している者の把握等について提案があった。本議案は非承認となり、今後の検討課題となった。

2025 年は下記の活動計画を以って、各地区ブロック役員とともに活動する。

- I. ICT を活用して認定看護管理者の資質向上と制度変更への対応に取り組む
- II. 次世代看護管理者育成と多様なキャリアを支援する
- III. 運営体制の強化と会員間の連携促進を図る

地区ブロック別懇談会（11:15～12:00）

ランチョンセミナー（12:15～13:00）

日本トリム株式会社 健康セミナー『健康の鍵は「水」にある』

健康管理から疾病予防まで、電解水素水の効果についてデモンストレーションを交えた説

明が施され、参加者の多くが関心を寄せていた。

特別講演 1 (13:00～14:30) 参加者：73 名（非会員含む）

「次世代の管理者育成」 講師：古谷 健 先生（株式会社マサール 代表取締役）

人生の中で、『ショコラを通じて世の中に感動を提供する』という使命に出会えたことで、いくつもの危機を乗り越えることができた。これまで、その使命を言語化し、その使命を次世代管理者と共有し共感してきた。その中で、組織運営及び社員教育/組織づくりに欠かせない二つの宝物として、①人を大切にする「中期経営計画書」、及び②人間学を学ぶ月刊誌「致知」があった。その活用においては、経営者としての揺るぎない信念が基盤となっていた。

特別講演 2 (14:40～16:30)

「2025 年度看護に関する国の予算・看護政策」 講師：石田まさひろ先生（参議院議員）

人口減少が最大の社会問題となっている昨今、『量を守り質を追求する』ために、看護の未来-2025 年 7 つのポイントとして、ナースセンターの機能充実、看護職の業務の整理と効率化、看護職の働き方の抜本的な見直し、科学技術を活用した看護の革新的な向上、医師不在地域での看護師の活用拡大、地域の生活を支える多機能看護体制の構築、卒前・卒後の教育の連動と生涯教育の充実が示された。看護職を取り巻く社会状況を理解し、向かうべき方向や課題等について考える機会となった。

最後に

今年は、例年と異なり、実践報告はなく特別講演を 2 題とした。

人口減少に拍車がかかる中、石田先生は「職員は増えないが、人手が必要な患者が増える。同じ時間でもより深いかかわりをする知恵と技＝質の向上」の重要性について示された。これは、古谷先生の掲げている「社員一人一人がいかに頭を使うかが大事」という戦略に通じるものがあり、相互の連関が大きな学びにつながった。

今回、看護業界以外で活躍されている方の講演をとおして得られた知見は大変意味のあるものであり、貴重な機会となった。